

2024年8月29日
株式会社 MUJI HOUSE

建築中の「無印良品 日田」で日田市内の児童・生徒を対象に 「かまどベンチ製作イベント」「建築現場見学会」を開催



無印良品の家を展開する株式会社 MUJI HOUSE（本社 東京都文京区 代表取締役社長 堂前 宣夫）は、設計・施工を行っている「無印良品 日田」（大分県日田市）において、日田市立日隈小学校 6 年生を対象に「かまどベンチ製作イベント」を、大分県立日田林工高等学校建築土木科の生徒様を対象に「建築現場見学会」を開催したことをお知らせいたします。

当社では、地域の皆様と価値観を共有し、地域を活性化する活動の一環として本取組を開催いたしました。「無印良品 日田」については、高い耐震性を保持する空間と、エネルギーを創出できる商業建築であり、被災者支援としての機能を備えています。「かまどベンチ」についてはその機能の一つであり、日隈小学校の児童様と一緒に製作を行いました。また、日田市の基幹産業である林業を学ぶ日田林工高等学校の生徒様にとって有益な機会となるよう、無印良品の店舗とは初となる大規模木造店舗の構造についてご説明いたしました。

実施概要

日時

かまどベンチ製作イベント 2024年7月25日（木）

建築現場見学会 2024年7月26日（金）

場所

無印良品 日田 大分県日田市大字庄手字堤ノ外6 4 8-6

参加者

日田市立日隈小学校 6 年生 13 名

大分県立日田林工高等学校建築土木科 20 名

実施時の様子



名 称 : 無印良品 日田

建設地 : 大分県日田市

用 途 : 店舗

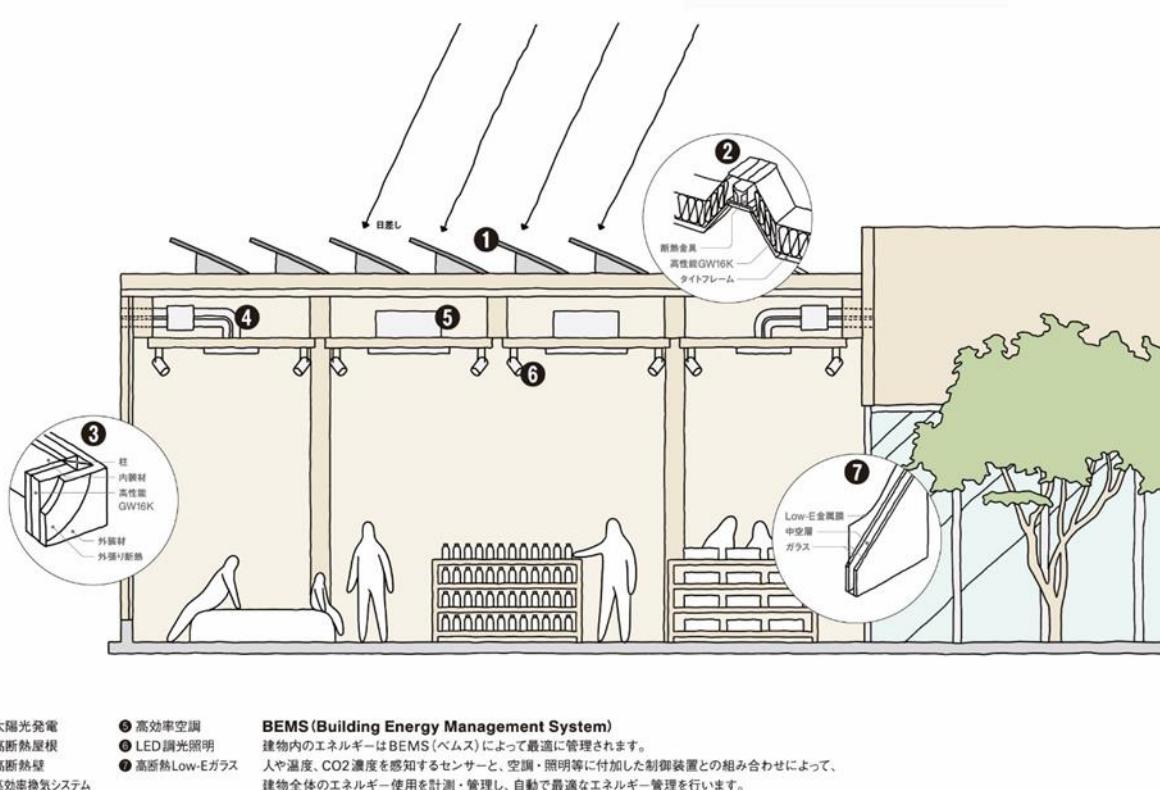
構 造 : 木造平屋建て (SE 構法)

延床面積 : 2,625m²

設計施工 : 株式会社 MUJI HOUSE



【参考資料】無印良品 日田 大規模木造建築物としての特長



高性能断熱材を導入した木造の外皮と設備の高効率化により室内の快適性を確保しながらエネルギー消費量を抑えた設計と、太陽光発電による創エネルギーの自給自足で、大規模木造建物のZEB化を実現しました。MUJI HOUSEが設計施工する大規模木造店舗は、エネルギー消費量の削減だけでなく、快適性・生産性の向上、災害時における地域貢献など、事業継続性の向上につながる建物です。

1. エネルギーは±0

高性能断熱材を含む木造の屋根や外壁の使用、および、人感／CO₂センサーで換気量や温度を最適に管理できる高効率な空調設備により、必要なエネルギーの総量を削減します。同時に、太陽光発電と蓄電池を活用し、建物内で使用するエネルギーを創り出すことで、エネルギー消費量のネットゼロ化を実現します。

2. 耐震性と空間の自由度を備えた建築設計

SE構法とは、強度が高く品質の安定した構造用集成材を「SE金物」で剛接合することで、耐震性の高い空間を設計できる木造ラーメン構造です。柱、梁、最低限の耐力壁で強度を確保できるため、耐震性を保ったまま、開放的で自由度の高い空間を実現できます。

3. 災害時の被災者支援機能

高い耐震性を保持する空間と、エネルギーを創出できる大型木造建築物は、用途によって被災者支援の拠点としても活用が可能です。無印良品の防災プロジェクト「いつものもしも。」で培った知見も生かし、災害時を想定した店舗設計を行うことで、あらゆる状況下で地域に役立つ店舗を目指します。

株式会社 MUJI HOUSE 会社概要

社名 株式会社 MUJI HOUSE 代表取締役社長 堂前 宣夫

所在地 〒112-0004 東京都文京区後楽 2 丁目 5 番 1 号

電話 03-6699-7400

設立 2000 年 5 月 31 日

資本金 1 億 4,900 万円 (2021 年 5 月 1 日現在)

事業内容 無印良品の家を中心とした住空間の事業の運営／商品企画／開発／卸しおよび販売

<本件に関するお問合せ>

株式会社 MUJI HOUSE TEL : 03-3989-7731 mail:info-living@muji.net